

## あわてんぼうワンちゃんとゆっくりカタツムリさんの会 ステップ・ステップ

市民公益活動支援センターの登録団体である「あわてんぼうワンちゃんとゆっくりカタツムリさんの会 ステップ・ステップ」代表の藤田由紀子さん(写真下)にお話を伺いました。



Q.いつ頃からどのような活動をされていますか？

10年程前に5年間、地域の小学校で、放課後児童クラブの子どもを対象に、アメリカで開発された教育プログラムの「セカンドステップ」を行っていました。「セカンドステップ」とは、子どもの育ちとおとなの育ちをサポートしてくれるソーシャルスキルのレッスンのことです。その後、この活動を広く地域にも伝えたいと、「あわてんぼうワンちゃんとゆっくりカタツムリさんの会 ステップ・ステップ」を発足させ、8年。現在は、イオン古川橋駅前店で、月に一度「イオンでお喋り会」を開催したり、「かどま 子ども食堂・子どもの居場所ネットワーク」の運営を担うなど、門真市内外で子どもの声を聴かせてもらう「子どもの権利擁護」を主な活動にしています。

Q.「あわてんぼうワンちゃんとゆっくりカタツムリさんの会 ステップ・ステップ」という長い名前に込められた願いは何ですか？

「セカンドステップ」で使用する人形劇からきています。あわてんぼうで衝動的になっているワンちゃんに、「ゆっくり考えよう」とカタツムリさんが言うという内容です。どの子どもも大人も家庭環境や個性は様々です。人形劇の中に登場するワンちゃんやカタツムリさんのように、小さなステップをひとつひとつ踏んでいけば、上っていけるという願いを込めて名付けました。



月に一度「イオンでお喋り会」を開催



「かどま 子ども食堂・子どもの居場所ネットワーク」でも活動されています

Q.このコロナ禍で、活動が制限されていることが多いと思いますが、どのように活動をすすめていますか？

少人数で感染対策をしながら、またはオンラインで話し合いを重ねることができています。ずっと同じメンバーで同じことを続けていると、どうしても気持ちがよんどくるので、ピンチもあったほうがメンバーで高めあうことができ、自分達に今できることを考えるいい機会になっています。

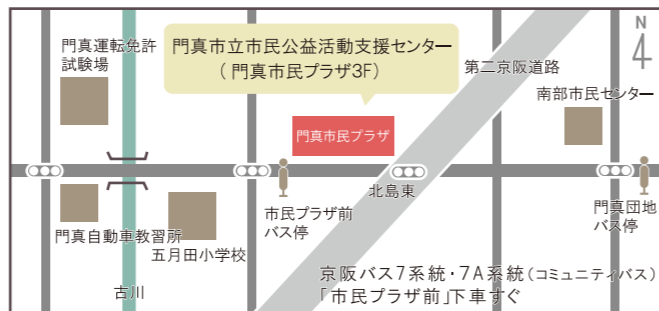
一緒に活動いただける方、ご連絡をお待ちしています。



市民公益活動支援センターは、「非営利」かつ「不特定多数の利益」となる、市民公益活動をサポートしています。

門真市立市民公益活動支援センター  
〈指定管理者〉(特活)大阪NPOセンター

住所：〒571-0025 門真市大字北島546番地  
門真市民プラザ3階  
TEL：072-800-7431  
FAX：072-800-7432  
メール：ko-eki-c@aqua.ocn.ne.jp  
開館時間：9:00～21:30  
休館日：毎週木曜、年末年始(12/29～1/3)  
ホームページ：www.kadoma-koeki-cnt.com



### Access

- ・京阪バス7系統・7A系統(コミュニティバス)「市民プラザ前」下車すぐ
- ・京阪本線「古川橋」駅(北口)からバスで約15分
- ・地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南」駅からバスで約16分



# 公益times

~PUBLIC INTEREST TIMES~

No.14  
2021.7.31

門真市立市民公益活動支援センター

## TOPIC 1 「NPOってなに？」勉強会を開催しました

7月7日・14日・21日の3回にわたり、「NPOってなに？」NPOの勉強会を開催いたしました。講師役のセンター長の楽しくも真面目な話に、生徒の皆さんは聞き入っていました。

感想を伺うと「たくさんの学びをありがとうございます。少しでも楽しい素敵な門真にしたいです」とのことでした。今後も希望がありましたら、勉強会を開催いたしますので、ご要望やよいアイデアがありましたら、ご意見をお寄せください。



## TOPIC 2 パンフレットを新しく作成しました



この度、市民公益活動支援センターのパンフレットをつくりました。

センターをご利用いただいている方のきっかけとなった思いから、活動に至るまでのお話を伺い、それを例として掲載しています。

市民公益活動支援センターの役割(サポート、マッチングなど)がお分かりいただけるかと思えます。パンフレットは当センターをはじめ、門真市内の公共施設に置いてありますので、一度お手に取ってご覧ください。

## 市民公益活動支援センターではこんなことをやっています

### 市民公益活動の中間支援

市民公益活動団体の支援や連携、企業や教育機関との協働コーディネートなどを行っています。



### 情報の提供

NPO・ボランティアなどに関する広報紙、助成金・補助金の案内、登録団体のチラシなどを置き、情報提供を行っています。



### 場所の利用

会議室・セミナー室・事務ブース・フリースペースがあり、会議・勉強会・交流会などにご利用いただけます。



### 機材の利用

ロッカー・メールBOX・印刷機・紙折り機・プロジェクターなどの機器類の利用ができます。



## 素朴な疑問をセンター長に聞いてみたコーナー vol.1



### Q.「公益(こうえき)」って、何のこと?

公益とは、自分の利益や、自分たちの利益のためだけでなく、社会全体の利益のことを指します。不特定多数の利益とも言われますが、分かりやすく言えば、サービスをおこなう対象を特定できない場合は、公益活動と考えられるかな～。

### Q.ほんなら、私たちも関わっている自治会とかも、公益的な活動って言えるのかな?

そうじゃね。地域という空間的な広がりや基準にしている、自治会や子ども会などの「地縁組織」も、公益性が強いという意見もありますが、公益的な活動と言えるでしょう。

### Q.市民活動って、ボランティア団体の事だけやと思ってたんやけど…

市民活動は、さっき話に出てきた地縁組織、NPO(課題解決組織)、それからNPOが法人格を取得した特定非営利活動法人(NPO法人)など、公益活動をおこなっている団体や企業の社会貢献活動(CSR)などがあるかな～。どれも社会や地域において必要なものじゃし、ボランティア精神(個人の自発性)で成り立っているんです。

## 「門真の井戸端会議 ～いろんなセクターがつながる～」



「井戸端会議」の狙いは、「ひとものかね情報」を、多様なセクターが共有(知恵を結集)することで、それぞれのセクターの「強み」を活かし、かつ、「弱み」を補い合うつながりをつくること。

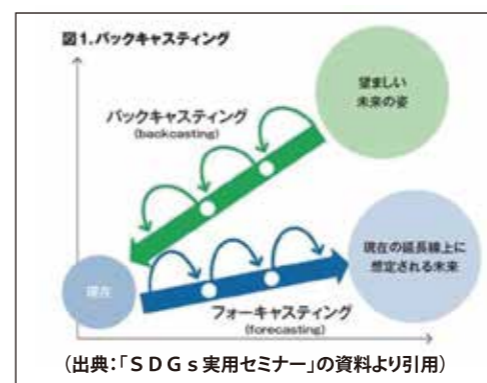
6月13日(日)、企業・NPO・行政・教育機関などの16名が集い、門真という「まち」に対する思いを共有する、「門真の井戸端会議 ～いろんなセクターがつながる～」を開催しました。

そのつながりを基に、市民公益活動を広げ、門真のまちづくりを実践していくことです。第1回目は、株式会社創縁舎の栢山義彦(はげやまだひこ)氏に話題提供者となってもらい、「未来」を起点として、そこから逆算して「今」何をすべきかを考えました。これと対をなすのが、「フォアキャスティング(forecasting)」思考で、この手法は、「今」を起点とする思考です。



この思考を基に、「2030年に門真がどうあるべきか」との問題提起をいただきました。栢山氏の問題提起を踏まえ、以下のような熱い議論が交わされました。

これから、門真はハード面が大きく変わっていく。それに伴い、ソフト面の変革(市民の意識変革や人材の育成など)が必要。例えば、住み(続け)たいまち。自分たちでつくるまち。行政職員の意識改革も必要。グローバルな視点も必要。しかし、ローカルの視点(門真のまちの魅力や、住民が知ることも必要)。



ハード面のまちづくりを実践していくことは難しいけれど、「門真の井戸端会議 ～いろんなセクターがつながる～」では、多様なスキルを持っている市民がつながることで、ソフト面(社会関係資本)ソーシャル・キャピタルを活かした、小さなまちづくりを実践していきます。

